

今すぐできる地震対策 家具固定と感震ブレーカー

いつ起こるか分からない巨大地震。

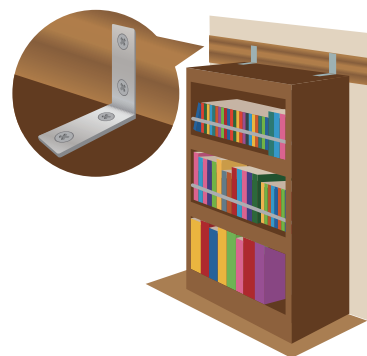
皆さんの家の中は、地震が来ても「安全」と言い切れますか？

地震による負傷の多くは「家具の転倒」が原因です。また、「通電火災」は、大切な住まいを一瞬で奪ってしまいます。

命を守るために必要なのは、「家具を倒さないこと」と「電気を自動で止めること」です。今すぐできる、我が家の防災対策を始めましょう。

「家具固定」で逃げ道を確保しよう！

地震の際、家具は倒れて避難経路をふさぐだけでなく、あなたや家族を傷つける「凶器」にもなります。寝室と出入り口には物を置かないなど、まずは、万が一倒れても体に当たらないよう、家具の配置を見直しましょう。タンスや本棚は、必ず転倒防止対策を施しましょう。家具を固定する場合はL字金具やワイヤーでの固定が効果的です。壁にネジ止めできない場合は、突っ張り棒や粘着マットを併用し、家具を壁にしっかり固定してください。



「感震ブレーカー」で通電火災を防ごう！

地震で停電しても、復旧時に再通電することで、倒れたヒーターや照明などから火災が発生することがあります。感震ブレーカーは、揺れを感知すると自動的に電気を遮断し、電気火災のリスクをゼロに近づけることができます。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤型：家全体の電気を確実に遮断（確実性が高い）

コンセント型：特定の家電のコンセントに挿すだけ（手軽）

簡易型：重りやバネでブレーカーのレバーを落とす（安価）



※市では要配慮者世帯を対象に「家具固定金具の取り付け」と「感震ブレーカーの設置」に補助金制度を設けています。

詳しくは右の二次元コードから市ホームページをご確認いただくか、危機管理課までお問い合わせください。



家具転倒防止金具
取付事業補助金



感震ブレーカー
設置事業補助金

自宅の防災対策に関するアンケート

市では現在、市民の皆様の「防災対策の実態」を把握するためのアンケートを実施しています。

皆さんの回答をもとに、市として今後どのような対策や支援ができるのかを検討します。ぜひご回答ください。（回答期間は9月末まで）



アンケート